

平成 21 年 6 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社ガリバーインターナショナル
代表者名 代表取締役会長 羽鳥 兼市
(コード番号 7599 東証第1部)
問合せ先 常務取締役 吉田 行宏
(TEL.03-5208-5503)

(訂正・数値データ訂正あり)「平成 21 年 2 月期 決算短信」の一部訂正について

平成 21 年 4 月 20 日に公表いたしました標記開示資料について、一部訂正がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。なお、訂正箇所には、アンダーバー () を標記しております。

1. 訂正の理由

社内における精査の結果、誤りが見つかったため訂正するものであります。

2. 訂正箇所

・ 決算短信	1 ページ
・ 1. 経営成績	
(1)経営成績に関する分析	3 ページ
(2)財政状態に関する分析	4 ページ
・ 2. 連結貸借対照表	
(1)連結貸借対照表	6 ページ
(2)連結損益計算書	8 ページ
(4)連結キャッシュ・フロー計算書	11 ページ
・ 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項	13 ページ
・ 表示方法の変更	新規追加
・ (セグメント情報)	21 ページ
・ (1株当たり情報)	22 ページ
・ 3. 個別貸借対照表	
(1)貸借対象表	25 ページ
(2)損益計算書	26 ページ
・ 表示方法の変更	新規追加
・ (1株当たり情報)	32 ページ

3. 訂正内容

(1 ページ)

(訂正前)

(財)財務会計基準機構会員 

平成21年2月期 決算短信

平成21年4月20日

上場会社名 株式会社ガリバーインターナショナル 上場取引所 東
 コード番号 7599 URL <http://www.glv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 羽鳥 兼市
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉田 行宏 TEL (03) 5208-5503
 定時株主総会開催予定日 平成21年5月27日 有価証券報告書提出予定日 平成21年5月28日
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年2月期の連結業績(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期	163,669	△14.1	3,829	△56.0	2,610	△70.0	△2,836	—
20年2月期	190,592	4.6	8,698	△21.8	8,699	△20.8	4,650	△29.1

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益 率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
21年2月期	△300	38	—	—	△15.5	4.8	1.6
20年2月期	482	27	482	15	23.6	18.0	4.6

(参考) 持分法投資損益 21年2月期 — 百万円 20年2月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
21年2月期	58,773	15,836	15,836	26.9	1,650	10	
20年2月期	50,426	20,769	20,769	40.4	2,122	06	

(参考) 自己資本 21年2月期 15,829百万円 20年2月期 20,365百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年2月期	△6,833	△2,641	10,051	4,215
20年2月期	1,354	△2,960	177	3,639

2. 配当の状況

<略>

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当 期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 連結累計期間	74,000	△18.7	2,300	△18.1	2,300	△20.7	900	△13.6	98	93
通期	154,000	△5.9	5,000	33.0	5,000	99.9	2,300	—	252	82

4. その他

<略>

(参考)個別業績の概要

1. 平成21年2月期の個別業績(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期	139,572	△25.6	4,327	△85.1	3,957	△86.4	△2,093	—
20年2月期	167,219	0.4	8,459	△21.0	8,614	△18.0	4,293	△23.9

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期	△221	75	—	—
20年2月期	445	27	445	16

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21年2月期	44,307		15,263		34.4	1,590	40	
20年2月期	35,378		19,389		54.8	2,020	31	

(参考) 自己資本 21年2月期 15,263百万円 20年2月期 19,389百万円

2. 平成22年2月期の個別業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 累計期間	63,300	△17.9	2,300	△18.4	2,300	△20.1	1,100	0.1	120	92
通期	130,500	△6.5	4,600	7.2	4,600	16.2	2,100	—	230	84

(訂正後)

(財)財務会計基準機構会員 

平成21年2月期 決算短信

平成21年4月20日

上場会社名 株式会社ガリバーインターナショナル 上場取引所 東
 コード番号 7599 URL <http://www.glv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 羽鳥 兼市
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉田 行宏 TEL (03) 5208-5503
 定時株主総会開催予定日 平成21年5月27日 有価証券報告書提出予定日 平成21年6月1日
 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年2月期の連結業績(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期	163,669	△14.1	3,905	△55.1	2,635	△69.7	△2,836	—
20年2月期	190,592	4.6	8,698	△21.8	8,699	△20.8	4,650	△29.1

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益 率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	円	銭	円	銭	%	%	%
21年2月期	△300	38	—	—	△15.5	4.8	2.4
20年2月期	482	27	482	15	23.6	18.0	4.6

(参考) 持分法投資損益 21年2月期 — 百万円 20年2月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
21年2月期	58,773	15,836	15,836	26.9	1,704	02	
20年2月期	50,426	20,769	20,769	40.4	2,122	06	

(参考) 自己資本 21年2月期 15,829百万円 20年2月期 20,365百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年2月期	△6,539	△2,907	10,051	4,215
20年2月期	1,354	△2,960	177	3,639

2. 配当の状況

<略>

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当 期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2期四半期 連結累計期間	74,000	△18.7	2,300	△18.1	2,300	△20.7	900	△13.6	98	93
通期	154,000	△5.9	5,000	28.0	5,000	89.8	2,300	—	252	82

4. その他

<略>

(参考)個別業績の概要

1. 平成21年2月期の個別業績(平成20年3月1日～平成21年2月28日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期	139,572	△25.6	4,327	△85.1	<u>3,983</u>	<u>△53.8</u>	△2,093	—
20年2月期	167,219	0.4	8,459	△21.0	8,614	△18.0	4,293	△23.9

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期	△221	75	—	—
20年2月期	445	27	445	16

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21年2月期	44,307		15,263		<u>34.5</u>	<u>1,677</u>	<u>81</u>	
20年2月期	35,378		19,389		54.8	2,020	31	

(参考) 自己資本 21年2月期 15,263百万円 20年2月期 19,389百万円

2. 平成22年2月期の個別業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当 期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 累計期間	63,300	△17.9	2,300	△18.4	2,300	△20.1	1,100	0.1	120	92
通期	130,500	△6.5	4,600	<u>6.3</u>	4,600	<u>15.5</u>	2,100	—	230	84

(3、4ページ)

1. 経営成績

(訂正前)

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計期間の売上高は前期比14.1%減となりました。これは、直営店における買取台数の減少に伴い、車両販売台数が減少したことや、前期と比べて中古車オークション相場が下落したことによって1台あたりの平均販売単価が下落したことが主な要因です。売上高は減少しましたが、中古車オークションを通じた卸売りよりも利益率の高い小売台数は順調に伸び、近年、取り組んできた小売強化の成果が少しずつ現れ始めております。また、小売台数の増加などに伴い、オートローンなど金融事業を展開する連結子会社である株式会社ジー・ワンファイナンシャルサービスの収益が拡大しました。

一方、前期(平成20年2月期)に従業員を増加させたことによる人件費の増加や連結子会社の販売費及び一般管理費の増加によって販売費及び一般管理費が増加しました。また、連結子会社である株式会社ジートレーディング(JQ:3348)において発生した為替差損1,112百万円を営業外費用に計上しました。

第3四半期決算以前に計上済みである役員退職慰労引当金に係る会計処理方法の変更及び商品保証引当金に係る会計処理方法の変更に伴う損失計上の他、一部店舗の閉店に伴う固定資産除却損を特別損失に計上しました。また、連結子会社である株式会社ジー・トレーディングにおいて、資産評価を保守的観点から厳格に見直した結果、棚卸評価損、ロシア向けの輸出売掛金に対する貸倒引当金、子会社におけるリース資産及び固定資産の減損損失等を特別損失に計上しました。このため、特別損失が3,601百万円と前期末と比べ3,251百万円(927%増)となりました。

以上の結果、当連結会計期間の業績は、売上高163,669百万円(14.1%減)、営業利益3,829百万円(△56.0%減)、経常利益2,610百万円(70.0%減)、当期純損失2,836百万円となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

[中古車販売事業]

車の買取と販売を行うガリバー店舗のうち、直営店の店舗数は、308店(前期末比9店舗純増)となりました。ガリバー店舗で買い取った車両は短期間に、①日本全国のオークション会場、②画像販売システム「ドルフィンネットシステム」、③中古車事業者向けのインターネットを使用したオートオークション「GAO! Auction(ガオー!オークション)」などの販路を経て販売しております。

前記の通り、当事業の売上高は、直営店における車両販売台数が減少したことや前期と比べて中古車オークション相場が下落したことによって1台あたりの平均販売単価が下落したことにより減少しました。

結果として、売上高147,759百万円と前期に比べ25,144百万円(14.0%)減、営業利益6,538百万円と前期に比べ4,856百万円(42.6%)減となりました。

[金融事業]

金融事業を行う株式会社ジー・ワンファイナンシャルサービスは、ローン件数が小売台数の伸びに比例して増加していることにより、順調に収益を伸ばしております。なお、ローン件数の増加に伴い、金融事業における売掛金が、1,883百万円と前期末と比べ1,003百万円(114.1%)増となりました。また、業容の拡大に伴い、販売費及び一般管理費が増加しました。

結果として、売上高6,460百万円と前期に比べ1,333百万円(26.0%)増、営業利益103百万円と前期に比べ43百万円(29.5%)減となりました。

[その他の事業]

ガリバー加盟店の店舗数が145店（前期末比6店舗純減）となったため、ガリバー加盟店から得る収益が減少しました。一方、陸送事業を行う株式会社ハコボアの収益が増加しました。

結果として、売上高11,144百万円と前期に比べ603百万円（5.7%）増、営業利益2,502百万円と前期に比べ198百万円（7.3%）減となりました。

次期の見通し

当社の収益の核をなす中古車販売業におきましては、引き続き小売を強化していく考えです。広告宣伝は、小売を訴求する内容を増やしつつ、引き続き効率的な投下を行ってまいります。店舗展開は、効率性を重視し、当面は直営店の新規出店は抑制し、1店舗あたりの生産性を高めることを重視していきます。また、連結子会社である株式会社ジー・トレーディングは、営業利益がプラスに転じる見込みです。

金融事業におきましては、引き続き、オートローンの取り扱いを中心として事業を展開していきます。業績面においては、ローン件数の増加により収益の増加が見込まれます。その他事業におきましては、前期と大きな差異は発生しない見込みです。

以上をふまえ、通期の見通しは、売上高154,000百万円（前期比5.9%減）、営業利益5,000百万円（前期比33.0%増）、経常利益5,000百万円（前期比99.9%増）、当期純利益2,300百万円を見込んでおります。

(2)財政状態に関する分析

【資産、負債及び純資産の状況】

<略>

【キャッシュ・フローの状況】

当連結会計期間のキャッシュ・フローは、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなる一方、財務活動によるキャッシュ・フローがプラスとなり、全体では576百万円のプラスとなりました。

当連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、4,215百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、6,833百万円となりました。

主な内訳は税金等調整前当期純損失912万円、売上債権の増減額6,435百万円、法人税等の支払額3,199百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、2,641百万円となりました。これは主に直営店舗の新規出店及び社内システムの整備に伴う支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、10,051百万円となりました。これは主に借入金による収入によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

<略>

(3)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

<略>

(訂正後)

1. 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計期間の売上高は前期比14.1%減となりました。これは、直営店における買取台数の減少に伴い、車両販売台数が減少したことや、前期と比べて中古車オークション相場が下落したことによって1台あたりの平均販売単価が下落したことが主な要因です。売上高は減少しましたが、中古車オークションを通じた卸売りよりも利益率の高い小売台数は順調に伸び、近年、取り組んできた小売強化の成果が少しずつ現れ始めております。また、小売台数の増加などに伴い、オートローンなど金融事業を展開する連結子会社である株式会社ジー・ワンファイナンシャルサービスの収益が拡大しました。

一方、前期(平成20年2月期)に従業員を増加させたことによる人件費の増加や連結子会社の販売費及び一般管理費の増加によって販売費及び一般管理費が増加しました。また、連結子会社である株式会社ジー・トレーディング(JQ:3348)において発生した為替差損1,097百万円を営業外費用に計上しました。

第3四半期決算以前に計上済みである役員退職慰労引当金に係る会計処理方法の変更及び商品保証引当金に係る会計処理方法の変更に伴う損失計上の他、一部店舗の閉店に伴う固定資産除却損を特別損失に計上しました。また、連結子会社である株式会社ジー・トレーディングにおいて、資産評価を保守的観点から厳格に見直した結果、棚卸評価損、ロシア向けの輸出売掛金に対する貸倒引当金、子会社におけるリース資産及び固定資産の減損損失等を特別損失に計上しました。このため、特別損失が3,601百万円と前期末と比べ3,251百万円(927.1%増)となりました。

以上の結果、当連結会計期間の業績は、売上高163,669百万円(14.1%減)、営業利益3,905百万円(55.1%減)、経常利益2,635百万円(69.7%減)、当期純損失2,836百万円となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

[中古車販売事業]

車の買取と販売を行うガリバー店舗のうち、直営店の店舗数は、308店(前期末比9店舗純増)となりました。ガリバー店舗で買い取った車両は短期間に、①日本全国のオークション会場、②画像販売システム「ドルフィンネットシステム」、③中古車事業者向けのインターネットを使用したオートオークション「GAO! Auction(ガオー!オークション)」などの販路を経て販売しております。

前記の通り、当事業の売上高は、直営店における車両販売台数が減少したことや前期と比べて中古車オークション相場が下落したことによって1台あたりの平均販売単価が下落したことにより減少しました。

結果として、売上高154,298百万円と前期に比べ25,144百万円(14.0%)減、営業利益6,538百万円と前期に比べ4,856百万円(42.6%)減となりました。

[金融事業]

金融事業を行う株式会社ジー・ワンファイナンシャルサービスは、ローン件数が小売台数の伸びに比例して増加していることにより、順調に収益を伸ばしております。なお、ローン件数の増加に伴い、金融事業における売掛金が、20,605百万円と前期末と比べ11,941百万円(137.8%)増となりました。また、業容の拡大に伴い、販売費及び一般管理費が増加しました。

結果として、売上高6,460百万円と前期に比べ1,333百万円(26.0%)増、営業利益103百万円と前期に比べ43百万円(29.5%)減となりました。

[その他の事業]

ガリバー加盟店の店舗数が145店(前期末比6店舗純減)となったため、ガリバー加盟店から得る収益が減少しました。一方、陸送事業を行う株式会社ハコボアの収益が増加しました。

結果として、売上高11,144百万円と前期に比べ603百万円(5.7%)増、営業利益2,502百万円と前期に比べ198百万円(7.3%)減となりました。

次期の見通し

当社の収益の核をなす中古車販売業におきましては、引き続き小売を強化していく考えです。広告宣伝は、小売を訴求する内容を増やしつつ、引き続き効率的な投下を行ってまいります。店舗展開は、効率性を重視し、当面は直営店の新規出店は抑制し、1店舗あたりの生産性を高めることを重視していきます。また、連結子会社である株式会社ジー・トレーディングは、営業利益がプラスに転じる見込みです。

金融事業におきましては、引き続き、オートローンの取り扱いを中心として事業を展開していきます。業績面においては、ローン件数の増加により収益の増加が見込まれます。その他事業におきましては、前期と大きな差異は発生しない見込みです。

以上をふまえ、通期の見通しは、売上高154,000百万円（前期比5.9%減）、営業利益5,000百万円（前期比28.0%増）、経常利益5,000百万円（前期比89.8%増）、当期純利益2,300百万円を見込んでおります。

(2)財政状態に関する分析

【資産、負債及び純資産の状況】

<略>

【キャッシュ・フローの状況】

当連結会計期間のキャッシュ・フローは、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなる一方、財務活動によるキャッシュ・フローがプラスとなり、全体では576百万円のプラスとなりました。

当連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、4,215百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、6,539百万円となりました。

主な内訳は税金等調整前当期純損失912万円、売上債権の増加額△6,482百万円、法人税等の支払額△3,050百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、2,907百万円となりました。これは主に直営店舗の新規出店及び社内システムの整備に伴う支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、10,051百万円となりました。これは主に借入金による収入によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

<略>

(3)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

<略>

(6 ページ)

2. 連結財務諸表

(1)連結貸借対照表

(訂正前)

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成20年2月29日)		当連結会計年度 (平成21年2月28日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金		3,639		4,215	
2 売掛金		16,166		23,296	
<略>					
流動資産合計		31,148	61.8	40,202	68.4
<略>					
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金		3,505		3,849	
2 短期借入金		13,131		28,643	
3 未払金		3,039		2,420	
4 未払法人税等		1,306		551	
<略>					
流動負債合計		24,078	47.7	40,862	69.5
II 固定負債					
<略>					
固定負債合計		5,578	11.1	2,074	3.5
負債合計		29,657	58.8	42,937	73.0
(純資産の部)					
I 株主資本					
<略>					
株主資本合計		20,344	40.4	15,492	26.4
II 評価・換算差額等					
<略>					
評価・換算差額等合計		20	0.0	336	0.6
III 新株予約権		4	0.0	4	0.0
IV 少数株主持分		400	0.7	2	0.0
純資産の合計		20,769	41.2	15,836	26.9
負債純資産合計		50,426	100.0	58,773	100.0

(訂正後)

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成20年2月29日)		当連結会計年度 (平成21年2月28日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I	流動資産				
1	現金及び預金	3,639		4,215	
2	受取手形及び売掛金	16,166		23,296	
	<略>				
	流動資産合計	31,148	61.8	40,202	68.4
	<略>				
(負債の部)					
I	流動負債				
1	買掛金	3,505		2,993	
2	短期借入金	13,131		28,643	
3	未払金	3,039		3,259	
4	未払法人税等	1,306		567	
	<略>				
	流動負債合計	24,078	47.7	40,862	69.5
II	固定負債				
	<略>				
	固定負債合計	5,578	11.1	2,074	3.5
	負債合計	29,657	58.8	42,937	73.0
(純資産の部)					
I	株主資本				
	<略>				
	株主資本合計	20,344	40.4	15,492	26.4
II	評価・換算差額等				
	<略>				
	評価・換算差額等合計	20	0.0	336	0.6
III	新株予約権	4	0.0	4	0.0
IV	少数株主持分	400	0.8	2	0.0
	純資産の合計	20,769	41.2	15,836	27.0
	負債純資産合計	50,426	100.0	58,773	100.0

(8 ページ)

(2) 連結損益計算書

(訂正前)

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成19年 3月 1日 至 平成20年 2月 29日)		当連結会計年度 (自 平成20年 3月 1日 至 平成21年 2月 28日)		
		金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)	
I 売上高			190,592	100.0	163,669	100.0
II 売上原価			147,032	77.1	<u>124,148</u>	<u>75.9</u>
売上総利益			43,559	22.9	<u>39,521</u>	<u>24.1</u>
III 販売費及び一般管理費			34,860	18.3	35,691	21.8
営業利益			8,698	4.6	<u>3,829</u>	<u>2.3</u>
IV 営業外収益						
1 受取利息		5			<u>17</u>	
2 受取配当金		17			1	
3 受取手数料		4			—	
4 受取補償金		15			—	
<u>5</u> その他		265	307	0.2	<u>239</u>	<u>258</u>
V 営業外費用						
1 支払利息		140			<u>103</u>	
2 貸倒引当金繰入額		27			101	
3 為替差損		33			1,149	
4 その他		105	306	0.2	123	<u>1,478</u>
経常利益			8,699	4.6	<u>2,610</u>	1.6
VI 特別利益						
1 保険契約解約返戻金		20			<u>25</u>	
2 前期損益修正益		92			—	
3 固定資産売却益		15			10	
<u>4</u> その他		17	146	0.1	<u>43</u>	<u>79</u>
VII 特別損失						
<略>						
5 <u>棚卸評価損</u>		—			981	
6 関係会社株式減損損失		—			<u>68</u>	
7 投資有価証券評価損		—			39	
8 貸倒引当金繰入額		—			701	
9 その他		19	350	0.2	<u>128</u>	3,601
税金等調整前当期純利益又は当期純損失(△)			8,495	4.5		△912
法人税、住民税及び事業税		3,669			2,328	
法人税等調整額		126	3,796	2.0	△9	2,318
少数株主利益(△)又は少数株主損失			<u>49</u>	<u>0.0</u>		<u>△395</u>
当期純利益又は当期純損失(△)			4,650	2.5		△2,836
						△1.7

(訂正後)

		前連結会計年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)		当連結会計年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)			
区分	注記 番号	金額(百万円)		百分比 (%)	金額(百万円)		百分比 (%)
I	売上高		190,592	100.0		163,669	100.0
II	売上原価		147,032	77.1		<u>124,072</u>	<u>75.8</u>
	売上総利益		43,559	22.9		<u>39,596</u>	<u>24.2</u>
III	販売費及び一般管理費		34,860	18.3		35,691	21.8
	営業利益		8,698	4.6		<u>3,905</u>	<u>2.4</u>
IV	営業外収益						
1	受取利息	5			15		
2	受取配当金	17			1		
3	受取手数料	4			21		
4	受取補償金	15			—		
5	違約金収入	—			34		
6	負ののれん償却額	—			37		
7	その他	265	307	0.2	170	282	0.2
V	営業外費用						
1	支払利息	140			177		
2	貸倒引当金繰入額	27			101		
3	為替差損	33			1,149		
4	その他	105	306	0.2	123	<u>1,552</u>	<u>1.0</u>
	経常利益		8,699	4.6		<u>2,635</u>	1.6
VI	特別利益						
1	保険契約解約返戻金	20			—		
2	前期損益修正益	92			—		
3	固定資産売却益	15			10		
4	共済会清算益	—			43		
5	その他	17	146	0.1	—	54	<u>0.0</u>
VII	特別損失						
	<略>						
5	たな卸資産評価損	—			981		
6	関係会社株式減損損失	—			76		
7	投資有価証券評価損	—			39		
8	貸倒引当金繰入額	—			701		
9	その他	19	350	0.2	120	3,601	2.2
	税金等調整前当期純利益又は当期純損失(△)		8,495	4.5		△912	△0.6
	法人税、住民税及び事業税	3,669			2,328		
	法人税等調整額	126	3,796	2.0	△9	2,318	1.4
	少数株主利益(△)又は少数株主損失		<u>△49</u>	<u>△0.0</u>		<u>395</u>	<u>0.3</u>
	当期純利益又は当期純損失(△)		4,650	2.5		△2,836	△1.7

(11 ページ)

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

		前連結会計年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)
区分	注記 番号	金額(百万円)	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュフロー			
税金等調整前当期純利益 (△純損失)		8,495	△912
減価償却費		2,342	<u>2,336</u>
賞与引当金の増減額 (△は減少)		109	△3
貸倒引当金の増減額		174	<u>1,033</u>
<略>			
支払利息		140	<u>103</u>
<略>			
売上債権の増減額		△2,267	<u>△6,435</u>
たな卸資産の増減額		△2,588	<u>△875</u>
仕入債務の増減額		169	<u>355</u>
営業貸付金の増減額		△601	<u>△199</u>
未払消費税等の増減額 (△は増加)		△89	46
その他		508	<u>△1,954</u>
小計		6,705	<u>△3,548</u>
利息及び配当金の受取額		5	17
利息の支払額		△140	<u>△103</u>
法人税等の支払額		△5,214	<u>△3,199</u>
営業活動によるキャッシュフロー		1,354	<u>△6,833</u>
II 投資活動によるキャッシュフロー			
有形固定資産の取得による支出		△1,946	<u>△2,043</u>
有形固定資産の売却による収入		116	<u>192</u>
無形固定資産の取得による支出		△824	<u>△603</u>
関係会社株式の取得による支出		△0	△212
投資有価証券の取得による支		—	<u>△97</u>
貸付による支出		△3	<u>△13</u>
貸付金の回収による収入		3	<u>35</u>
敷金・保証金の支払額		△305	100
投資活動によるキャッシュフロー		△2,960	<u>△2,641</u>
III 財務活動によるキャッシュフロー			
<略>			
財務活動によるキャッシュフロー		177	10,051
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		6	—
V 現金及び現金同等物の増減額		△1,421	576
VI 現金及び現金同等物に期首残高		4,855	3,639
VII 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加・減少(△)額		205	—
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	※	3,639	4,215

(訂正後)

		前連結会計年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)
区分	注記 番号	金額(百万円)	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュフロー			
税金等調整前当期純利益 (△純損失)		8,495	△912
減価償却費		2,342	<u>2,385</u>
のれん償却額		—	<u>67</u>
負ののれん償却額		—	<u>△37</u>
賞与引当金の増減額		109	△3
貸倒引当金の増減額		174	<u>1,038</u>
<略>			
支払利息		140	<u>177</u>
<略>			
売上債権の増減額		△2,267	<u>△6,482</u>
たな卸資産の増減額		△2,588	<u>△1,562</u>
仕入債務の増減額		169	<u>△515</u>
営業貸付金の増減額		△601	<u>△202</u>
未払消費税等の増減額		△89	46
その他		508	<u>△283</u>
小計		6,705	<u>△3,328</u>
利息及び配当金の受取額		5	17
利息の支払額		△140	<u>△177</u>
法人税等の支払額		△5,214	<u>△3,050</u>
営業活動によるキャッシュフロー		1,354	<u>△6,539</u>
II 投資活動によるキャッシュフロー			
有形固定資産の取得による支出		△1,946	<u>△2,253</u>
有形固定資産の売却による収入		116	<u>32</u>
無形固定資産の取得による支出		△824	<u>△478</u>
関係会社株式の取得による支出		△0	△212
投資有価証券の取得による支出		—	<u>△98</u>
投資有価証券の売却による収入		—	<u>8</u>
貸付による支出		△3	<u>△9</u>
貸付金の回収による収入		3	<u>3</u>
敷金・保証金の支払額		△305	100
投資活動によるキャッシュフロー		△2,960	<u>△2,907</u>
III 財務活動によるキャッシュフロー			
<略>			
財務活動によるキャッシュフロー		177	10,051
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		6	<u>△28</u>
V 現金及び現金同等物の増減額		△1,421	576
VI 現金及び現金同等物に期首残高		4,855	3,639
VII 連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加・減少(△)額		205	—
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	※	3,639	4,215

(13ページ)

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(訂正前)

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

	前連結会計年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)
	<p>(2) 非連結子会社名 株式会社カーブロス 株式会社ジー・ワンインシュアランスサービス</p> <p><略></p>	<p>(2) 非連結子会社名 株式会社カーブロス 株式会社ジー・ワンインシュアランスサービス 概誉企業管理諮詢(上海)有限公社 Gulliver India Gulliver Auto True</p> <p><略></p>
2 持分法の適用に関する事項	<p>(1) 持分法を適用している非連結子会社及び関連会社は、ありません。</p> <p>(2) 持分法を適用しない非連結子会社及び関連会社の名称 UG Powers株式会社 株式会社カーブロス 株式会社ジー・ワンインシュアランスサービス</p> <p><略></p>	<p>(1) 持分法を適用している非連結子会社及び関連会社は、ありません。</p> <p>(2) 持分法を適用しない非連結子会社及び関連会社の名称 UG Powers株式会社 株式会社カーブロス 株式会社ジー・ワンインシュアランスサービス 概誉企業管理諮詢(上海)有限公社 Gulliver India Gulliver Auto True</p> <p><略></p>
3 連結子会社の事業年度等に関する事項	<p>連結子会社のうち、決算日が連結決算日(2月末日)と異なる会社はGulliver Europe Ltd.、Samurai Motors Co.及びG-Trading RUS LLC(12月31日)であります。</p> <p>連結財務諸表の作成にあたっては、Gulliver Europe Ltd.、Samurai Motors Co.及びG-Trading RUS LLCは決算日の差異が3ヶ月を超えないため、当該子会社の決算財務諸表を基礎として連結しております。連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p>	<p>連結子会社のうち、決算日が連結決算日(2月末日)と異なる会社は以下の通りです。</p> <p>(12月31日) Gulliver Europe Ltd. Samurai Motors Co. G-Trading RUS LLC</p> <p><略></p>

(訂正後)

連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

	前連結会計年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)
	<p>(2) 非連結子会社名</p> <p>株式会社カーブロス</p> <p>株式会社ジー・ワンインシュアランスサービス</p> <p><略></p>	<p>(2) 非連結子会社名</p> <p>株式会社カーブロス</p> <p>株式会社ジー・ワンインシュアランスサービス</p> <p>概誉企業管理諮詢(上海)有限公社</p> <p>Gulliver India</p> <p>Gulliver Auto True</p> <p><u>G-TRADING INDIA PVT.LTD</u></p> <p><略></p>
2 持分法の適用に関する事項	<p>(1) 持分法を適用している非連結子会社及び関連会社は、ありません。</p> <p>(2) 持分法を適用しない非連結子会社及び関連会社の名称</p> <p>UG Powers株式会社</p> <p>株式会社カーブロス</p> <p>株式会社ジー・ワンインシュアランスサービス</p> <p><略></p>	<p>(1) 持分法を適用している非連結子会社及び関連会社は、ありません。</p> <p>(2) 持分法を適用しない非連結子会社及び関連会社の名称</p> <p>UG Powers株式会社</p> <p>株式会社カーブロス</p> <p>株式会社ジー・ワンインシュアランスサービス</p> <p>概誉企業管理諮詢(上海)有限公社</p> <p>Gulliver India</p> <p>Gulliver Auto True</p> <p><u>G-TRADING INDIA PVT.LTD</u></p> <p><略></p>
3 連結子会社の事業年度等に関する事項	<p>連結子会社のうち、決算日が連結決算日(2月末日)と異なる会社はGulliver Europe Ltd.、Samurai Motors Co.及びG-Trading RUS LLC(12月31日)であります。</p> <p>連結財務諸表の作成にあたっては、Gulliver Europe Ltd.、Samurai Motors Co.及びG-Trading RUS LLCは決算日の差異が3ヶ月を超えないため、当該子会社の決算財務諸表を基礎として連結しております。連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p>	<p>連結子会社のうち、決算日が連結決算日(2月末日)と異なる会社は以下の通りです。</p> <p>(12月31日)</p> <p>Gulliver Europe Ltd.</p> <p>Samurai Motors Co.</p> <p>G-Trading RUS LLC</p> <p><u>Gulliver USA, Inc.</u></p> <p><u>Gulliver East, Inc.</u></p> <p><略></p>

(新規追加)
表示方法の変更

(訂正前)
記載無し

(訂正後)

前連結会計年度 (自 平成19年 3月 1日 至 平成20年 2月 29日)	当連結会計年度 (自 平成20年 3月 1日 至 平成21年 2月 28日)
	<p>(連結貸借対照表)</p> <p>前連結会計年度において固定負債の「その他」に含めて表示しておりました「負ののれん」は、重要性が増したため、当連結会計年度より区分掲記致しました。 なお、前連結会計年度における「負ののれん」の金額は176百万円であります。</p>
	<p>(連結損益計算書)</p> <p>前連結会計年度において営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「負ののれん償却額」は、重要性が増したため、当連結会計年度より区分掲記致しました。 なお、前連結会計年度における「負ののれん償却額」の金額は12百万円であります。</p>
	<p>(連結キャッシュ・フロー計算表)</p> <p>1. 営業活動によるキャッシュ・フローの「のれん償却額」は、前連結会計年度は「減価償却費」に含めて表示しておりましたが、金額的重要性が増したため区分掲記致しました。 なお、前連結会計年度の「減価償却費」に含まれている「のれん償却額」は22百万円であります。</p> <p>2. 営業活動によるキャッシュ・フローの「負ののれん償却額」は、前連結会計年度は「その他」に含めて表示しておりましたが、金額的重要性が増したため区分掲記致しました。 なお、前連結会計年度の「減価償却費」に含まれている「負ののれん償却額」は12百万円であります。</p> <p>3. 営業活動によるキャッシュ・フローの「為替差損益」は、前連結会計年度は「その他」に含めて表示しておりましたが、金額的重要性が増したため区分掲記致しました。 なお、前連結会計年度の「その他」に含まれている「為替差損益」は33百万円であります。</p>

(21 ページ)

(セグメント情報)

a. 事業の種類別セグメント情報

(訂正前)

当連結会計年度(自 平成 20 年 3 月 1 日 至 平成 21 年 2 月 28 日)

	中古車販売 事業 (百万円)	金融事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	150,959	5,032	7,677	163,669	—	163,669
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,339	1,427	3,467	8,234	△8,234	—
計	154,298	6,460	11,144	171,903	△8,234	163,669
営業費用	147,759	6,357	8,642	162,759	△2,882	159,876
営業利益	6,538	103	2,502	9,144	△5,351	3,792
II 資産、減価償却費及び資本的支出						
資産	21,232	9,499	1,387	32,119	5,082	58,773
減価償却費	3,286	642	93	2,172	360	2,336
資本的支出	1,993	510	36	2,540	157	2,698

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な商品又は役務の名称

事業区分	主要商品又は役務の名称
中古車販売事業	当社直営店等における中古自動車の買い取り及び販売
金融事業	連結子会社の株式会社ジー・ワンファイナンシャルサービスにおいて、オートローンの取り扱い等の金融事業における役務の提供
その他の事業	車の買取と販売を行う「ガリバー」及び「画像販売システム」設置店の運営に係るフランチャイズ事業における役務の提供

3 「消去又は全社」の項目に含めた金額及び主な内容

	金額		主な内容
	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	
消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額	5,543	5,351	親会社の本社管理部門に係る費用
消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額	6,889	5,082	親会社での余資運用資金(現金及び有価証券)及び管理部門に係る資産等

b. 所在地別セグメント情報

<略>

c. 海外売上高

<略>

(訂正後)

当連結会計年度(自 平成 20 年 3 月 1 日 至 平成 21 年 2 月 28 日)

	中古車販売 事業 (百万円)	金融事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	150,959	5,032	7,677	163,669	—	163,669
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,339	1,427	3,467	8,234	△8,234	—
計	154,298	6,460	11,144	171,903	△8,234	163,669
営業費用	147,759	6,357	8,642	162,759	△2,995	159,764
営業利益	6,538	103	2,502	9,144	△5,238	3,905
II 資産、減価償却費及び資本的支出						
資産	26,785	23,343	1,774	51,903	6,869	58,773
減損損失	335	79	—	414	—	414
減価償却費	1,688	148	231	2,069	316	2,385
資本的支出	2,355	149	234	2,739	122	2,861

(注) 1 事業区分の方法

事業区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な商品又は役務の名称

事業区分	主要商品又は役務の名称
中古車販売事業	当社直営店等における中古自動車の買い取り及び販売
金融事業	連結子会社の株式会社ジー・ワンファイナンシャルサービスにおいて、オートローンの取り扱い等の金融事業における役務の提供
その他の事業	車の買取と販売を行う「ガリバー」及び「画像販売システム」設置店の運営に係るフランチャイズ事業における役務の提供

3 「消去又は全社」の項目に含めた金額及び主な内容

	金額		主な内容
	前連結会計年度 (百万円)	当連結会計年度 (百万円)	
消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額	5,543	5,238	親会社の本社管理部門に係る費用
消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額	6,889	6,869	親会社での余資運用資金(現金及び有価証券)及び管理部門に係る資産等

b. 所在地別セグメント情報

<略>

c. 海外売上高

<略>

(22 ページ)

(1株当たり情報)

(訂正前)

前連結会計年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)		当連結会計年度末 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)	
1株当たり純資産額	2,122.06	1株当たり純資産額	<u>1,650.10</u>
1株当たり当期純利益金額	482.27	1株当たり当期純損失	300.38
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	482.15	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純損失については1株当たり <u>当期純損失</u> であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益又は当期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)	当連結会計年度末 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)
損益計算書上の当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	4,650	△2,836
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	4,650	△2,836
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,642	9,441
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(千株)		
新株予約権	2	<u>2</u>
普通株式増加数(千株)	2	<u>2</u>
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類 (新株予約権による潜在株式の数52千株)	新株予約権2種類 (新株予約権による潜在株式の数 <u>52</u> 千株)

(訂正後)

前連結会計年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)		当連結会計年度末 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)	
1株当たり純資産額	2,122.06	1株当たり純資産額	<u>1,704.02</u>
1株当たり当期純利益金額	482.27	1株当たり当期純損失金額	300.38
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	482.15	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純損失金額については1株当たり当期純損失金額であるため記載していません。	

(注) 1株当たり当期純利益金額又は当期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)	当連結会計年度末 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)
損益計算書上の当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	4,650	△2,836
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	4,650	△2,836
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,642	9,441
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(千株)		
新株予約権	2	—
普通株式増加数(千株)	2	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類 (新株予約権による潜在株式の数52千株)	新株予約権2種類 (新株予約権による潜在株式の数49千株)

(25 ページ)

3. 個別財務諸表

(1)貸借対照表

(訂正前)

区分	注記 番号	前事業年度 (平成20年2月29日)		当事業年度 (平成21年2月28日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金		2,217		2,274	
2 短期借入金		5,300		18,133	
3 未払金		1,185		<u>1,583</u>	
4 未払法人税等		1,122		<u>28</u>	
<略>					
12 設備未払金		106		—	
13 その他		52		42	
流動負債合計		12,043	34.0	24,948	56.3
II 固定負債					
<略>					
固定負債合計		3,944	11.2	4,095	9.2
負債合計		15,988	45.2	29,044	65.5

(訂正後)

区分	注記 番号	前事業年度 (平成20年2月29日)		当事業年度 (平成21年2月28日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金	※1	2,217		2,274	
2 短期借入金		5,300		18,133	
3 未払金	※1	1,185		<u>1,484</u>	
4 未払法人税等		1,122		<u>45</u>	
<略>					
12 設備未払金		106		<u>82</u>	
13 その他		52		42	
流動負債合計		12,043	34.0	24,948	56.3
II 固定負債					
<略>					
固定負債合計		3,944	11.2	4,095	9.2
負債合計		15,988	45.2	29,044	65.5

(26 ページ)

(2) 損益計算書

(訂正前)

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)		当事業年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)	
		金額 (百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高					
<略>					
II 売上原価					
1 商品売上原価					
(1) 期首商品たな卸高		2,681		<u>3,750</u>	
(2) 当期商品仕入高		129,123		105,849	
合計		131,805		<u>109,584</u>	
(3) 期末商品たな卸高		3,628		<u>5,822</u>	
(4) 他勘定振替高		409		<u>360</u>	
差引：商品売上原価		127,767		103,401	
2 その他の営業収入原価		536	128,303	975	104,376
売上総利益			38,915		35,195
III 販売費及び一般管理費					
<略>					
4 賞与		1,215		<u>31</u>	
<略>					
6 賞与引当金繰入額		473		<u>1,687</u>	
<略>					
16 その他		3,337	30,456	<u>3,527</u>	30,868
営業利益			8,459		4,327
IV 営業外収益					
<略>					
5 その他		255	356	116	<u>215</u>
V 営業外費用					
<略>					
経常利益			8,614		<u>3,957</u>
VI 特別利益					
1 保険契約解約戻戻金		20	20	<u>25</u>	<u>25</u>
VII 特別損失					
<略>					
3 訴訟和解金等		—		<u>89</u>	
4 過年度役員退職慰労引当金繰入額		—		376	
5 過年度商品保証引当金繰入額		—		249	
6 子会社損失引当金繰入額		—	898	2,794	4,345
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)			7,735		△362
<略>					
当期純利益又は当期純損失 (△)			4,293		△2,093

(訂正後)

区分	注記 番号	前事業年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)		当事業年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)	
		金額 (百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高					
＜略＞					
II 売上原価					
1 商品売上原価					
(1) 期首商品たな卸高		2,681		3,628	
(2) 当期商品仕入高		129,123		105,849	
合計		131,805		109,478	
(3) 期末商品たな卸高		3,628		6,016	
(4) 他勘定振替高		409		60	
差引：商品売上原価		127,767		103,401	
2 その他の営業収入原価		536	128,303	975	104,376
売上総利益			38,915		35,195
III 販売費及び一般管理費					
＜略＞					
4 賞与		1,215		1,246	
＜略＞					
6 賞与引当金繰入額		473		472	
＜略＞					
16 その他		3,337	30,456	3,575	30,868
営業利益			8,459		4,327
IV 営業外収益					
＜略＞					
5 保険金収入		—		25	
6 その他		255	356	116	240
V 営業外費用					
＜略＞					
経常利益			8,614		3,983
VI 特別利益					
1 保険契約解約返戻金		20	20	—	—
VII 特別損失					
＜略＞					
3 過年度役員退職慰労引当金繰入額		—		376	
4 過年度商品保証引当金繰入額		—		249	
5 子会社損失引当金繰入額		—		2,794	
6 その他		—	898	89	4,345
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)			7,735		△362
＜略＞					
当期純利益又は当期純損失 (△)			4,293		△2,093

(新規追加)

表示方法の変更

(訂正前)

記載無し

(訂正後)

前連結会計年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)	当連結会計年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)
	(損益計算書) 前事業年度において営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「保険金収入」は、当事業年度において重要性が増したため、区分掲記致しました。 なお、前事業年度における「保険金収入」は11百万円であります。

(32ページ)

(1株当たり情報)

(訂正前)

前事業年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)	当事業年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)
1株当たり純資産額 2,020.31円	1株当たり純資産額 <u>1,590.40円</u>
1株当たり当期純利益 445.27円	1株当たり当期純損失 221.75円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益 445.16円	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純損失については1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(注)1株当たり当期純利益又は当期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

項目	前事業年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)	当事業年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)
損益計算書上の当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	4,293	△2,093
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	4,293	△2,093
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,642	9,441
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(千株)		
新株予約権	2	<u>2</u>
普通株式増加数(千株)	2	<u>2</u>
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類 (新株予約権による潜在株式の数52千株)	新株予約権2種類 (新株予約権による潜在株式の数52千株)

(訂正後)

前事業年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)		当事業年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)	
1株当たり純資産額	2,020.31円	1株当たり純資産額	1,677.81円
1株当たり当期純利益	445.27円	1株当たり当期純損失	221.75円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	445.16円	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純損失については1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。	

(注)1株当たり当期純利益又は当期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

項目	前事業年度 (自 平成19年3月1日 至 平成20年2月29日)	当事業年度 (自 平成20年3月1日 至 平成21年2月28日)
損益計算書上の当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	4,293	△2,093
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(百万円)	4,293	△2,093
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,642	9,441
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に用いられた普通株式増加数の主要な内訳(千株)		
新株予約権	2	—
普通株式増加数(千株)	2	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権2種類 (新株予約権による潜在株式の数52千株)	新株予約権2種類 (新株予約権による潜在株式の数49千株)

以 上